深浦町防災訓練
～大切な いのちを 守るために～

訓練は、5月26日午前10時に、緊急一斉放送及び緊急エリアメール伝達と同時に実施。全町あげての訓練には、各小中学校や福祉施設、自治会など約1，500人が参加し、38年前の日本海中部地震を教訓に、防災への意識を高めました。

この日は、午前10時に日本海沖を震源とする大地震が発生し、津波の襲来が予測される事態を想定しました。地震発生の一斉放送を受け、役場職員約30人は沿岸にある庁舎から高台にある岡町防災広場へ避難。地震が発生してから津波が来るまでの短い時間での避難はとても大変な事だと再認識したのち、避難経路をしっかり確認していました。

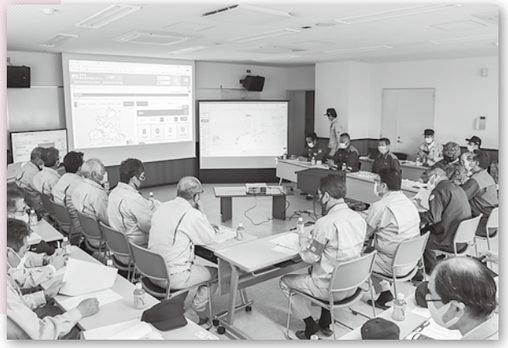
また、深浦消防署（広戸）に災害対策本部を設置し、町内11地区に配置された担当職員が、今年度導入された県総合防災情報システムを活用し、スマートフォンで各地区の負傷者や避難者の人数、被害のあった家屋の数など現地の様子を撮影し送信。災害対策本部で受信し、リアルタイムでの被害状況を把握していました。

災害対策本部長を務めた佐藤副町長は今回の防災訓練の総括として、「津波はいつどこにいようが予想外の大きさで押し寄せてくるリスクを常に意識しなければならない。今回は町として初の試みとしてデジタル通信を活用したが、その教訓や反省を生かし今後の災害防災業務に反映させて、町民の安心・安全に繋がるよう努力を継続していきたい」と述べました。

町としては今後も、有事の際の備えとなるよう計画的な防災基盤の強化を図ることとしています。

高台へ逃げる職員たち（3区）

園児たちも高台へ逃げました（横磯地区）


災害対策本部の様子（深浦消防署内）

新しい副町長が就任しました

平成25年から2期8年に渡り、町政運営に尽力してきた菊池雄司副町長が5月の任期満了をもって退任したことを受け、新副町長に佐藤洋一氏（6区）が就任しました。

佐藤副町長は、平成30年3月まで町役場財政課長として勤務。行政に精通しており、今後は吉田町長をサポートします。

佐藤副町長の経歴は次のとおりです。

佐藤洋一副町長
昭和55年4月1日　深浦町役場に採用。以降主に教育委員会や企画、財政畑を経て、企画課長、企画財政課長、財政課長を歴任。63歳。

いわさき小学校 岩崎中学校
最後の小中合同運動会

5月15日、小中合同大運動会がいわさき小学校のグラウンドで開催されました。今年で15回目となる合同大運動会は、天候にも恵まれ、小学生、中学生共に白熱したレースを繰り広げました。また、会場みんなが参加できる「御慶山踊り」や、中学生による「十二湖太鼓」、「よさこいソーラン」も披露され、会場を盛り上げました。

岩崎中学校は今年度をもって閉校し、来年度からは深浦中学校と統合するため、合同で開催する最後の大運動会でしたが、生徒たちは思う存分楽しんでいました。

みんなの海をきれいに
小中合同海岸清掃

岩崎漁港付近の海岸で6月3日、いわさき小学校、岩崎中学校の児童生徒とその先生方が海岸清掃を行いました。

ゴミ拾いは両校の恒例行事となっていましたが昨年は新型コロナウイルスによって中止。2年ぶりのゴミ拾いとなりました。海岸に打ち上げられた漂着ゴミやペットボトルなど、日が照り続けるなか、児童生徒が協力し、こまめに水分を摂りながらゴミ拾いに励みました。沖見和哉さん（岩崎中3年）は「今回で小中合同海岸清掃は最後でしたが、8年間（昨年未実施のため）ゴミ拾いを行った中で一番ごみが多かったです。どうしてごみが増えるのか一人ひとりが考え、日頃からごみを捨てない意識を持つことが大事だと感じました。皆さん、これからもポイ捨てなどをしないようにしましょう」と、児童生徒全員に呼びかけました。

◀一緒にゴミ拾い！

▶たくさん拾ってくれてありがとう

▲この漁網、重いぞ～!!

▲小山校長（岩崎中）は外国語表記のごみを発見